



春のやわらかな陽ざしの中、新しい一年が始まりました。ご入園・ご進級、おめでとうございます。新しい環境に、期待と少しの不安を抱えながら迎えられたことと思いますが、子どもたち一人ひとりが安心して過ごせるよう、職員一同心を込めて関わってまいります。本年度もどうぞよろしく願いいたします。



### <忘れることのできない一人の子ども>

これまでの保育の中で、忘れることのできない一人の子どもの姿があります。落ち着いて座ることが難しく、給食の時間も、お昼寝の時間も、思うようにはいきませんでした。追いかけて、声をかけて、そっと寄り添って…毎日が試行錯誤の連続でした。

### <大好きだよ>

けれど、私たちが大切にしていたのは、「上手にできるようにすること」ではなく、「大好きだよ」という気持ちを、ただただ伝え続けることでした。すると、少しずつ、ほんの少しずつ、変化が生まれていきました。いつも追いかけていたその小さな背中が、ある日、くるっと振り返り、自分から手を差し出してくれました。必死で座ってもらっていた椅子にも、今度はその子が私の手を引き、そっと椅子のところまで連れていってくれるようになりました。

### <触れているだけで>

手をつないでいると安心するのでしょうか。椅子に座りながら、ぎゅっと手を握り返してくれるそのぬくもりに、何度も胸がいっぱいになりました。お昼寝の時間も同じで、そばで体にそっと触れているだけで、安心したようにゆっくりと目を閉じて、穏やかな寝息を立てるようになっていきました。

### <その子らしく>

「できたこと」よりも、「心がつながったこと」が、こんなにも子どもを変えていくのだと、教えてもらった日々でした。

3月、その子は卒園していきました。もうあの小さな手を引くことはできないけれど、ふとした瞬間に思い出します。あの時のぬくもりも、差し出してくれた手の重みも、今も変わらず心の中に残っています。新しい園でも、きっとまた大好きだと思える先生に出会い、安心できる場所の中で、その子らしく…その子らしく歩んでいけますように。

子どもたちは一人ひとり違うペースで育っていきます。その歩みに丁寧に寄り添いながら、「ここなら大丈夫」と思える場所であり続けたいと、あらためて感じています。新しく出会う子どもたちとも、また一つひとつ心を通わせながら、かけがえのない毎日を積み重ねていきたいと思えます。

今年もまた、たくさんの「大好き」があふれる一年になりますように。





# きたおおじアルバム

